

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 115

発生場所	トイレ	精神・意識障害の有無	無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所（その他）				
関連したもの	機器	発生内容の分類	閉じ込め	

発生内容

トイレ内、長時間放置。

概要

患者86才女性、車椅子移動、ADL低下あり、ナースコール押せない。認知症あり。朝食ホールにて摂取。その後、部屋に戻る途中、トイレによる（介助にて）スタッフはナースコール対応にてその場を離れ、他のスタッフへ伝えた。しかし、そのままトイレ内へ2時間以上放置となった。その間、何度か部屋に訪室した別のスタッフは、リハビリ・検査にて不在と思った。

要因

所在確認が不十分で、情報共有が徹底できていなかったが、トイレ内にセンサーがあり、一定時間すぎると室内の電気が消えてしまう状態であったため、使用されていないと思ってしまった。

対策

①トイレ“使用中”“空室”のマグネット板を使用。 ②部屋に“行き先板”を置き、検査・リハビリ・売店等の所在を明確にする。トイレ介助中は、その場を離れない事はもちろんですが、患者の所在を引き継ぐ事を徹底した。

参照